二岐溪谷

つげ義春

今年の秋のおわりに、季節はずれの台風に見舞われ慌てさせられたが、そのとき、ぼくは会津の山奥にいたので、今度の台風の威力が、実際にはどの程度のものであるのか見当がつかないでいた。山の中で遭遇する台風は、いっそうの凄味があるので、これは各地で相当の被害が出るだろうと思っていたのだが、下山後のニュースでは、さほどではなかったらしい。
会津の山奥でも被害らしい被害はなかった。
猿が一ぴき死んだだけだった。

紅葉をながめながら旅行をするのも悪くないと思い、一週間の予定で東北地方を大ざっぱに一周したのだが、紅葉のシーズンは過ぎていた。

寒い地方の紅葉は一気に染まり、瞬時に落葉すると聞いていたが、それは、まさに土砂降りといった感じで、そういう光景を初めて見ると、何か異変の起こる前兆ではないかしらと思ったりしてかえって不気味にさえなる。

けれど、それは接近している台風とはなんの関係もない。

二岐渓谷の上流には鄙びた湯治場があり、五軒の宿屋が崖にしがみつくように点在している。

ほかに自炊客相手の小さな食品店があるだけの、たったそれだけの寂しい処である。

なるほど
貧しそうだな
ぼくの好みに
ぴったりだ

この辺は
ばかに犬の
多い処
ですね
そう
かの

そういわれて
みれば多い
気もするね
なぜだろう

この辺は猫を
飼わないで
犬を飼っている
から犬が多い
のです

マタタビが
たくさんなっている
ので猫がうれしが
っちゃってだめなん
です

やあ
これは
ナメコで
すね

すごい
なア

うちで
栽培して
いるの
です
すると
これは
厭というほど
食べられる
わけですね

ほかにモミジの精進あげ、ワラビの漬物、マタタビの甘露煮、なんかもあります

栗ゴハンもたいて上げます
ゴクリ

二食で六百円
ハイッ
泊めて下さい！

爺さん婆さんは宿を閉じて、山を下りる仕たくをしていた。このあたりは一年の半分近くを雪にとざされるので、紅葉を過ぎると客はパッタリ来なくなってしまうのだ。

爺さんは、「ここに宿を開業したのは失敗だった」ともらしていた。つとめていた役場の退職金で、ささやかな小屋を建てたのだが、夏期だけの客相手では経営がおぼつかないと言うのだ。

それで冬の間は里の息子の処に戻り、雪がとけ始めるとまた出張してくるのだそうだ。

この犬の名前はなんというのかね
コースケ

いい名前だそれではきみの名前は何というのかね
マゴ!

きみマゴというのは孫のことじゃないか

あんちゃんこれなんだろ

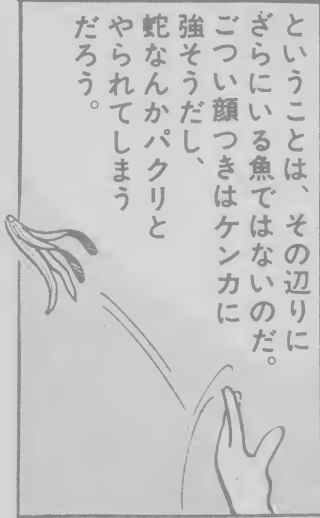
その中に何が入っているのだろ
い……い……や

ぼくは渓を散歩してくるからついて来てはいけないよ

危険だからね

二岐渓谷は一見「いるぞいるぞ」と釣人を喜ばせそうな様相の川だが、イワナ以外の魚は一ぴきもいない。

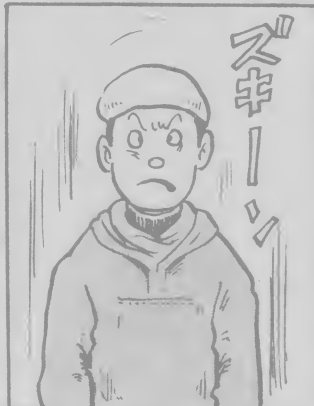
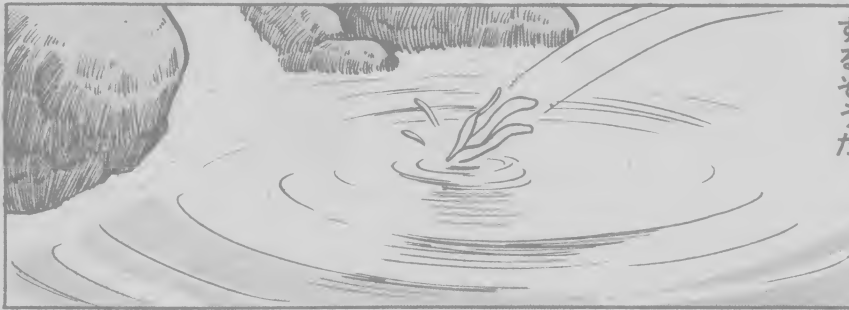
ぼくは、イワナは川魚の王様だと思っている。淡水魚としては最も標高の高い渓流に棲んでいるからだ。
モグモグ

ということは、その辺りにざらにいる魚ではないのだ。ごつい顔つきはケンカに強そうだし、蛇なんかパクリとやられてしまうだろう。

魚の格付けを釣り方のむずかしさで決めるなら、まさにNo.1だろう。イワナの大物を釣り上げると、誰でも心臓は脳天にとび上がり目がくらくらするそうだ。

バシャッ

ズキーン

イワナだ！

イワナだ！

おじさん竿を貸して下さい

あんたのその顔色ではイワナを見てきたね

そうです
落着かないで
下さい　ぼくは
昂奮しているの
ですから
けどね
いまはかか
らないよ
産卵期
だからの

それでは
タマ網を
貸して下さい
産卵期は
禁猟期
だよ

残念だ
なア

おや
？

バナナが
無い！

バナナが
無い！

不思議だ
なあ？

誰も
いなかった
はずな
のに

ジロッ

いや
彼女には
アリバイが
あった
……

お客さん
風呂に入って
来なせ
夕飯が
できます
ですヨ

おや？
先客が
いるぞ
大きな
野天
風呂
ですね
おや
？
この虫は
何だろう
いっぱい
浮いて
いるぞ
もしもし
気持の
悪い虫
ですね
もし
…？
ギョ！

猿だ！

猿だア

驚くじゃありませんか
また出ましたか

なぜ教えてくれなかったのです
もう現われないかと思いましたがの……

実は三日前にも現われましての私は手拭を一本奪われました
手拭を？

その時奴は岩かげにいたので私は気がつかないでいたのです

ふと！手拭をツンツンと引っぱられたのです

私はオヤオヤと思い
？

引きもどすと

またツシツンときたのです

誰だね
いたずら
するのは

というと
グイッと
やられた
のです

野性の
ケモノは
めったに
人前に現われ
ないもの
ですが
………

病気や怪我
をすると
温泉を求めて
やって来る
のです
そういえば
左肩の処に
大きな傷が
ありました

そこに
ウジ虫の
ような
ものが
いっぱい
つまって
いました

二度も現われ
たのは相当
弱っている
からで
しょう

ところで
野性の猿の
食性は本能に
よるもので
しょうか
と
いいます
と？

猿の食用品目
はかなりの
数があると
思いますが
それは
生得的に
決まっている
ものか
どうか

さあ？
どうですかね
………
私は習得的
なものだと
思います
がね

だとすると
初めて
見るもの
にも
手を出して
みる好奇心は
もっている
わけですね

はじめての
ものと
いうと
？
たと
えば
………

バナナの
ような
もの……

ゴーッ

ザーッ

台風は夜になってからやって来た。

大袈裟な勢いでやって来た。

清冽な流れはたちまち濁水の渦巻く激流と化し、
上流から押し流される小石は、空を飛ぶすさまじさだ。

ワァーン

ゴー

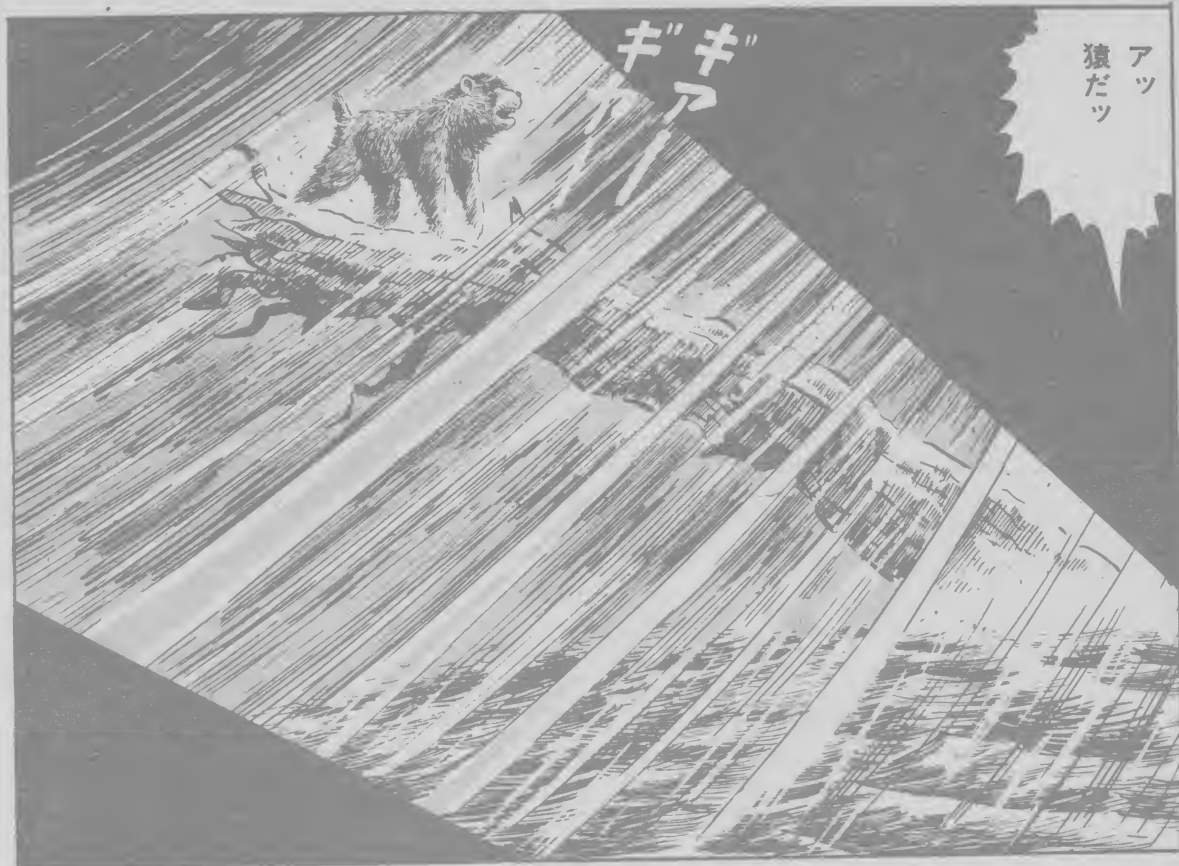
コースケ
コースケ

こらッ
どうした
のだ
ワワン

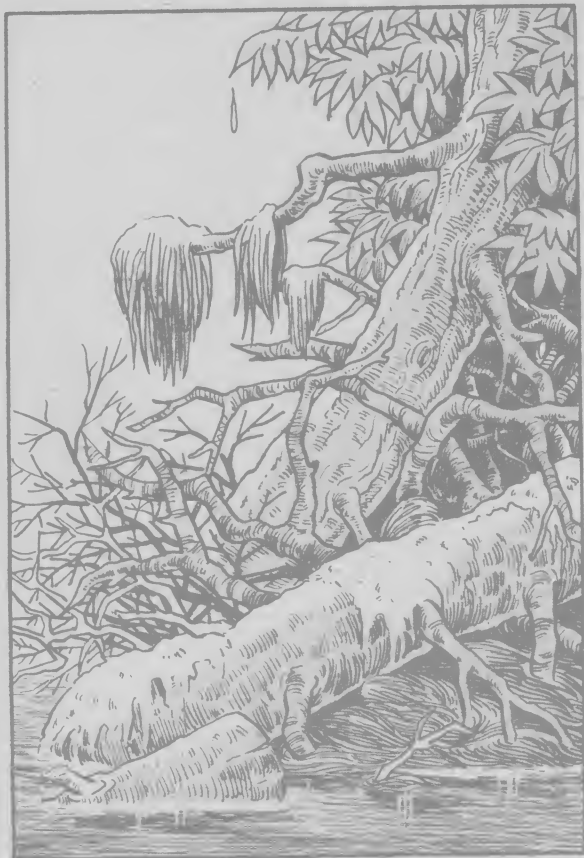
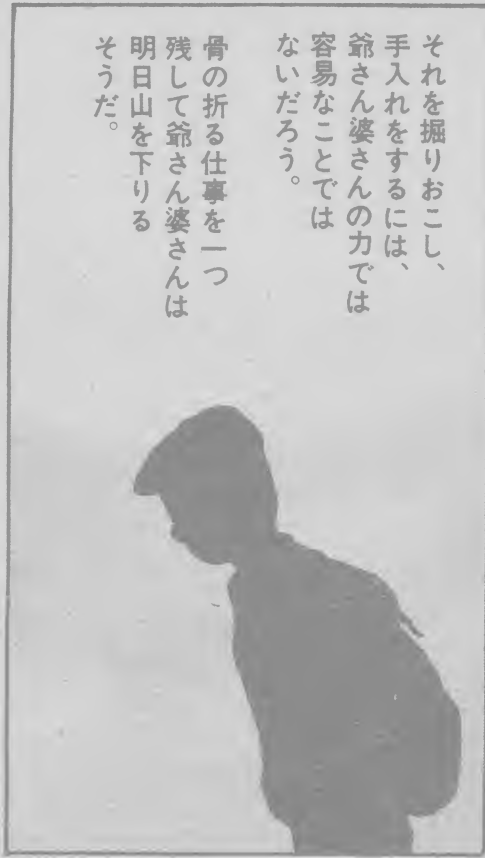
どうかした
のですか
ワワンワン

何かいる
のだな

パッ

アッ
猿だッ
ギギアー

逃げおくれたのだな
怪我をしているので敏捷性を欠いているのですね

あの流木は岩にひっかかっているがそのうち濁流に押し流されるでしょう
助かる見込みはないでしょうか

まず絶望です

翌日、山の容相は
一変していた。
紅葉はいっきに
吹きとばされ、
丸坊主にされた。
灰色の山々は寒々と
肩をすくめ合うように、
急にだらしなく見えた。

ぼくは、
今年最後の客と
いうことになるのだが、
来年は最初の客に
なってみたいものだ。
……そう思いながら
山を下りた。

完　42.11.